

JSCA千葉ニュース(春)

発行(社)日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報委員会)
 〒262-0031千葉県千葉市中央区長州1-14-1 飯島建築構造事務所内 TEL 043(221)5131
 FAX 043(221)5133

21世紀初頭の 新年会開催される

特別講演は 増田一眞先生の

「21世紀の建築工法はいかにあるべきか」

去る2月13日(火)JSCA千葉の会員のみ
 の新年会が千葉市のパーデイホテルで
 開催された。第一部は午後三時から
 表題の特別講演が行われ、32名の
 出席を得た。(二面に会員レポート
 あり)午後五時すぎから第二部として
 先生を交えた懇親会が開かれた。



新年会懇親会風景



特別講演を受講するJSCA千葉会員


年頭挨拶 JSCA千葉代表 飯島 宏治

21世紀を迎え、会員の皆様方におかれましては
 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。JSCA千
 葉も設立3周年目を迎えることとなりました。3年
 の間に多くの仲間との出会いがあり、知り合うこと
 から友人となり、そして連帯が生まれてきました。今
 後もJSCA千葉は会員の皆様と共に、お互いの連帯
 のもとに、研鑽と親睦を深め切磋琢磨していきたい
 と、決意を新たにしております。新しい年が構造技
 術者にとって大きな希望に満ちた年の始まりとなる
 ことを祈念して新年のご挨拶といたします。

JSCA千葉役員会議事録抜粋(相山)

役員会 代表 総務委員会 会員委員会 研修委員会 広報委員会 技術委員会	飯島 宏治 向後 勝弘 相山 誠治 服部 信幸 青木 光年 細川 正三 真崎 雄一 舛田 卓也 園部 隆夫 斉藤美佐男 安田 良一 市原 嗣久 坂恵 一巳	平成12年度第5回 9月7日(18:00~20:00) 出席、飯島代表他9名 1) 品確法の構造関係のマニュアル作成について 2) 各委員会活動報告	出席、飯島代表他5名 1) 新日鐵君津の見学会開催について、予定平成13年2月23日 2) 新年会について行政、他団体の招待は無し。講演会計画予定。 3) 平成12年APECエンジニア登録審査申請の案内 4) 各委員会活動報告	評価点を申請する。 3) 各委員会活動について、広報委:新年会2月号(冬)として広告を取る。「協力会」の入会希望あり。次回のテーマに。
		平成12年度第6回 10月12日(18:00~20:00) 出席、飯島代表他7名 1) 鋼材倶楽部講演会案内 2) 「住宅の品質確保の促進に関する法律」の構造評価部門に対するJSCA千葉の係わり方 3) 各委員会活動報告	平成12年度第8回 12月21日(18:00~20:00) 出席、飯島代表他9名 1) 新年会の開催について、講師予定:増田一眞氏。 2) 君津・新日鐵見学会、参加申し込みは2週間前までに。構造士	平成12年度第9回 2月2日(18:00~20:00) 出席、飯島代表他8名 1) 新年会の開催について 2) 君津・新日鐵見学会について 3) 各委員会活動報告 会員委・会員増強の方策・協力会員について:総務委・総会の準備について・品確法講師の講習会のスケジュールについて

画)



会員レポート (1)
「21世紀の建築工法は如何にあるべきか」

本誌は季刊とし年4回の発行を目標としてJSCA千葉の活動状況を報告しています。皆様の声を反映させるべく、ご意見ご要望をお待ちしています。(広報委員会)

(株)SPC設計コンサルタント 園部隆夫

JSCA千葉の新年会特別講演は、講師に増田一眞先生をお招きし、「本格的な建築構法への変革と新しいデザイン運動の発展を」と言う副題のレジメに沿って講演を進めて頂きました。当日は先生の著書も展示販売され、また会員のみ限定された会とはいえ出席者32名を数える盛況ぶりでした。

聞き漏らしたことも多いと思いますが増田先生の講演内容を箇条書き風にしますと次のようです。

- ・日本には十三世紀頃から純ラーメン形式の構造を採用した伝統木構法があったのが、明治維新後、ヨーロッパ諸国から招いた組石造とトラスしか知らなかった建築家たちを信奉するあまり、伝統工法の衰退を招いた。

- ・木構造の設計に対する改正建築基準法の考え方の疑問と危機感。

- ・耐久性の高いコンクリートを打設するためには、コンクリートの水セメントを40%以下にする必要がある。

- ・若い設計者はつい頭でのみ考えがちであるが、大工さんは全身で感じている。大工さん構造力学をわからなくても、なぜ物が壊れるかを体で感じている。もっと設計者は現実を見、楽をせずに専門知識の修得に努力してほしい。

- ・技術者の参画なしでは解決し得ない問題が多数あり、解決に向けては、技術力と共に自然科学、社会科学、人文科学の正しい認識が求められる。

- ・材料選択、構法組合せの大切さ。

- ・「構造設計者にしておくのはもったいない」といった構造設計者に対して無礼な事を言わせないように。この度の改正建築基準法の木造建築に対する規準の矛盾に対しては、JSCAとして大いに物を申して頂きたい。

以上のような我々構造設計者への、叱咤激励の言葉を頂き、21世紀を構造設計者の更なる飛躍と活躍の時代として大いに頑張りたい旨のお言葉も頂きました。

後半はスライドにより実施設計・監理をされた建物について、その工事経過、設計上考慮されたポイントの説明を通し、どのように前述の事柄について実践に移していったかを説明されました。

増田一眞先生のプロフィール
増田建築構造事務所 所長 (1934年広島県生)



伝統木造建築工法の第一人者として昨今の木造工法に鋭い警鐘を鳴らしている。「建築工法の変革」日刊工業新聞社で技術・科学図書文化賞受賞、その他著書多数。(真崎)

JSCA千葉技術委員会議事録抜粋 (定例月1回)

技術委員会 委員長 市原嗣久 第31回より場所を千葉市民会館会議室とし益々活発な活動しております。どうぞご参加下さい。(佐藤)	第30回9月28日 (16:00~18:00) 出席、市原委員長他10名 1、振動部会(西澤部会長)テキスト「だれにでもわかる振動解析」の解説。part2 2、技術委員会開催場所について。	第31回10月27日 (15:00~17:00) 出席、市原委員長他10名 1、評価アドバイザー西澤氏による「木造住宅性能評価のための安定に関する基準の手引き」の解説。	第32回11月22日 (15:00~17:00) 出席、市原委員長他8名 1、振動部会(西澤部会長)テキスト「だれにでもわかる振動解析」の解説。part3	第33回12月19日 (15:00~17:00) 出席、市原委員長他8名 1、振動部会(西澤部会長)テキスト「だれにでもわかる振動解析」の解説。part4	第34回1月24日 (15:00~17:00) 出席、市原委員長他8名 1、振動部会(西澤部会長)テキスト「だれにでもわかる振動解析」の解説。PART5(最終回) 2、住宅性能評価について「木造住宅性能評価のための手引き」追加解説。
---	--	--	---	---	---

画



会員レポート (「新日本製鉄 津工場見学会」)

(株)カトウ建築事務所 加藤義道

平成13年2月23日、新日本製鉄(株)君津製鉄所において快晴のもと工場及び総合技術センターの見学会が行われました。

工場においては主に圧延工程を見学し、焼結、高炉、転炉、圧延と鉄が製品になる迄の過程の一部を学びました。

全体的な印象としては、自動化、省力化が進み人間の顔がほとんど見えない事に対する驚きと、製鋼ラインが実に明確で合理的であり、その中でも鋼の材質を化学成分においてのみでなく、圧延過程の温度圧力で微調整して、客のニーズに対応しているというその繊細な品質管理には、鉄の持つ豪快なイメージに反して大変印象的でした。

次の総合技術センターにおいては、大型実験装置等の説明とスチールハウス・ハイパージョ



イントシステムの見学を行い、前者の板厚1mmの軽量形鋼を使用した構造とその座屈対策、ネジによる接合部、パネル化された床・壁などの構造は大変参考になりました。

又後者は優れた構造特性を持ち、実際の設計にも具体的に対応できるという事で偏心タイプの問題はあるにしても今後は是非検討していきたいと思っております。

見学会の終了後には情報交流会(コミュニケーションの場)を行って頂きお互いの親睦を深め、大いに盛り上がりました所で散会となりました。

最後に、今回このような見学会を設けて下さいました新日鉄の皆様には、心から感謝の弁を述べさせていただきます。



いただきます。

西澤会員,奮戦す

昨春以来JSCA千葉、西澤会員が千葉県住宅品質確保促進協議会主催「住宅品質確保の促進に関する法律」の講習会講師として派遣され下記の日程を精力的にこなしています。後僅かな日程となりましたが配布資料、CDR、参加費は無料です。多数の参加をお願いいたします。

2000/9/9(土)	船橋市勤労市民センター
2000/10/4(水)	千葉県庁多目的ホール
2000/10/17(火)	千葉県労働福祉センター
2000/11/17(金)	千葉県労働福祉センター
2000/12/8(金)	千葉県労働福祉センター
2000/12/15(金)	千葉県労働福祉センター
2000/12/21(木)	千葉県労働福祉センター
2000/12/22(金)	千葉県労働福祉センター
2001/1/20(土)	メディアパーク市川
2001/2/9(金)	千葉県文化会館小ホール
2001/2/23(金)	千葉県文化会館小ホール
2001/3/5(月)	東金市サンフレーム
2001/3/15(金)	千葉県文化会館小ホール
2001/3/22(木)	東金市サンフレーム

圧力のあれこれ

あれは確か、風の内圧の話がでたときのことだと思います。

N氏: 内圧といえば前に牛舎の設計をやった事があつたんです。

X氏: 山形フレームの新風圧力はやたらにややこしいよね。

N氏: いや、これがまず温度応力のチェ

ックをしなくちゃいけないんです。この内圧が凄いです。

Y氏: 牛の体温でそんな高いの?。そういえば、冬場は湯気上ってるよな。炬燵の代用になるかな。

一同: (・・・?)

N氏: ちょっと変な話だけど汚物溜めのチェック、土圧だと思います?

Z氏: 土みたいなものでしょ?

N氏: それが糞圧のチェックだったんですよ。

振動部会でなぜこのような話になったのかは、突風のものと理解していますが記事にははいけなかったかなあ。

(匿名希望の佐藤氏へ、いいんです、これで部会員が倍増するんだから)